

# 岡安証券

## ～注目・外株銘柄～

### (2024年1月)

#### 【米国市場・20銘柄掲載】

<追加>

- P1【半導体】            マイクロン・テクノロジー (MU)
- P2【配車・出前】      ウーバー・テクノロジーズ (UBER)
- P3【動画配信】        ネットフリックス (NFLX)
- <継続>
- P4【マグニフィセント7】    アップル (AAPL)
- P5【マグニフィセント7】    マイクロソフト (MSFT)
- P6【マグニフィセント7】    アルファベット (GOOGL)
- P7【マグニフィセント7】    アマゾン・ドット・コム (AMZN)
- P8【マグニフィセント7】    エヌビディア (NVDA)
- P9【マグニフィセント7】    メタ・プラットフォームズ (META)
- P10【マグニフィセント7】   テスラ (TSLA)
- P11【製薬大手】          イーライ・リリー (LLY)
- P12【SaaS系企業】        アドビ (ADBE)
- P13【SaaS系企業】        サービスナウ (NOW)
- P14【IT大手】            IBM (IBM)
- P15【半導体設計】        ケイデンス・デザイン・システムズ (CDNS)
- P16【半導体】            アドバンスド・マイクロ・デバイセズ (AMD)
- P17【半導体】            アプライド・マテリアルズ (AMAT)
- P18【セキュリティ】      パロアルト・ネットワークス (PANW)
- P19【セキュリティ】      クラウドストライク・ホールディングス (CRWD)
- P20【レストラン】        マクドナルド (MCD)

(株価データ、株価指標は現地2023年12月22日現在)

<追加>

- メモリーチップの大手
- 配車サービス世界最大手
- 動画配信世界最大手
- <継続>
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- ソフトウェア世界最大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- 画像処理半導体 (GPU) 開発企業
- 米SNS運営世界最大手
- 米電気自動車 (EV) 大手
- やせ薬で注目される米製薬大手
- クリエイター向けソフトウェア企業
- 企業向けIT管理ソフトウェア企業
- IT業界の老舗企業
- 半導体・電子部品設計ツール (EDA) 企業
- 米ロジック半導体大手
- 半導体製造装置世界大手
- 次世代ファイアウォール機器専門大手
- エンドポイント・セキュリティの次世代リーダー的存在
- 世界最大のファストフードチェーン

メモリーチップの大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

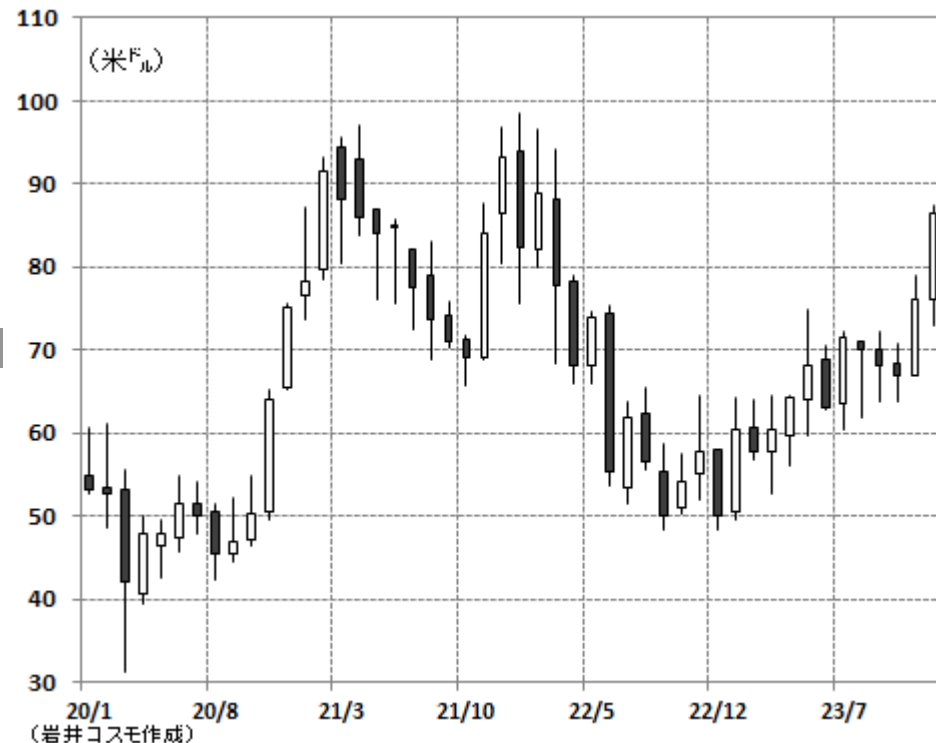
会社概要

1978年設立の半導体メモリー製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリー、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(前期)はDRAMが71%、NANDフラッシュ27%、その他2%。DRAMは省電力型の半導体メモリー。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

□ **黒字化を視野に入れる**: 半導体メモリー市況はコロナ禍のPC特需の反動等から需給バランスが崩れ価格低迷、22年9-11月期以降、調整後ベースの営業赤字が続く。23年に各社生産調整を実施した結果、23年8月以降、製品価格が回復。9-11月期決算で会社側は収益改善が進み24年3-5月期の同営業黒字化を見込む。

□ **AI計算を支える超高速メモリー量産化へ**: 超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリー)がAI計算で需要が急増、韓国大手2社が先んじて供給してきたが、マイクロンはHBMを24年初めに量産化を開始、今期数億ドルの売上を見込み、収益改善への貢献も期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	86.49 ( 12/22 )
52週高値(日付)	87.485 ( 23/12/22 )
52週安値(日付)	48.525 ( 22/12/27 )
時価総額	955億ドル 13兆5,969億円
株価変化率(%)	32.5 (過去6ヶ月間) 72.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	5.9 (倍)
PBR	2.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.53 (直近年率)
配当成長率(%)	7.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-14.9 (%)
株式ベータ	1.17 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/08	30,758	11	9,702	54	8,687	48	7.75	0.430
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460

四半期業績

2023/Q1	4,085	—	-209	—	-195	—	-0.18	0.115
2024/Q1	4,726	16	-1,128	赤継	-1,234	赤継	-1.12	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

配車/フードデリバリー・サービスを展開。最終黒字化実現

会社概要

米国最大のライドシェア企業、世界各地でサービスを展開。「ウーバー・ブラック」や「ウーバー・X」など乗客数や車種に応じたライドシェアリングを提供。ほか料理配送を請け負う「ウーバー・イツ」や荷物配送の「ウーバー・フレイト」事業も手掛ける。米国のライドシェア事業での市場シェアは7割強(23年9月)と2位のリフトを引き離す。2019年5月にニューヨーク上場、主要株主にソフトバンクG。23年12月にS&P500指数に採用された。

注目ポイント

□ **経営資源を集約し、黒字化実現**：23年第3四半期に2四半期連続で最終黒字を達成、直近4四半期の最終損益がプラスとなり、S&P500指数の採用条件をクリアし、その後指数採用に繋がった。自動運転開発子会社の売却等組織再編に加え経費節減にも努め、コロナ収束後に中核の配車サービスを復活させたことが奏功した。

□ **荷物配送苦戦も配車と料理配送がけん引**：配車と料理配送の23年第3四半期の予約額は前年同期比2桁の伸びを維持、荷物配送は同2割超減少と苦戦。米国以外ではドイツ、スペイン、アルゼンチン、日本、韓国、トルコが高い伸び。日本のライドシェア解禁も参入に意欲。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	61.71 ( 12/22 )
52週高値(日付)	63.53 ( 23/12/15 )
52週安値(日付)	23.91 ( 22/12/27 )
時価総額	1,270億ドル 18兆0.847億円
株価変化率(%)	42.4 (過去6ヶ月間) 150.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	1,441 (倍)
株価売上高比率	3.5 (倍)
PBR	12.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.3 (%)
株式ベータ	1.20 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	17,455	57	-3,834	赤継	-496	赤継	-0.29	0.00
2022/12	31,877	83	-1,832	赤継	-9,141	赤継	-4.65	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	8,343	—	-495	—	-1,206	—	-0.61	0.00
2023/Q3	9,292	11	394	黒転	221	黒転	0.10	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。23年9月末時点の会員数は全世界で約2.47億人。

注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処、ユーザー数の増加要因に**：Netflixでは1億人超が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化した。結果、7-9月期の会員純増数は876万人と4-6月期の589万人から加速した。

□ **全番組視聴者データ公表**：12月に23年上半期の全番組・映画視聴率の詳細データを初提供、今後年2回公表する。累計視聴時間は約1000億時間のうち最人気の「ナイト・エージェント」は視聴時間が8億時間を超えた。公表は広告事業の強化が狙いの一つと見られる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	486.76 ( 12/22 )
52週高値(日付)	500.83 ( 23/12/20 )
52週安値(日付)	273.48 ( 22/12/28 )
時価総額	2,130億ドル 30兆3,397億円
株価変化率(%)	14.8 (過去6ヶ月間) 65.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	46.0 (倍)
株価売上高比率	6.6 (倍)
PBR	9.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	21.2 (%)
株式ベータ	1.48 ( 対S&P500 )

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	29,698	19	6,195	35	5,116	85	11.24	0.00
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00

四半期業績

2022/Q3	7,926	—	1,533	—	1,398	—	3.10	0.00
2023/Q3	8,542	8	1,916	25	1,677	20	3.73	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **10-12月上見通しが前年並みとの予想**：7-9月期決算は4四半期連続の減収も売上・利益は市場予想上振れた。中国本土のアイフォン売上は過去最高だったがマックPCやアイパッドが低調だった。10-12月期見通しは、アイフォン販売は増加するものの、他の製品販売減と相殺される見込みを示した。尚、11月発表の米インターブランド社の世界ブランド価値ランキングでアップルは11年連続首位となった。

□ **24年春頃に新製品の投入観測**：複数モデルのアイパッドや高性能半導体搭載のPCマックブックエアが24年3月末頃の販売開始を準備していると報じられた。低調な製品群の販売テコ入れが期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	193.6 ( 12/22 )
52週高値(日付)	199.615 ( 23/12/14 )
52週安値(日付)	124.18 ( 23/01/03 )
時価総額	3兆0,110億ドル 428兆7983億円
株価変化率(%)	3.7 (過去6ヶ月間) 46.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	31.6 (倍)
株価売上高比率	8.0 (倍)
PBR	48.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.50 (直近年率)
配当成長率(%)	4.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	171.9 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	90,146	—	24,894	—	20,721	—	1.29	0.230
2023/Q4	89,498	-1	26,969	8	22,956	11	1.46	0.240

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **「ウィンドウズ95以来の革新」生成AIが実装へ**: 9月26日更新の「ウィンドウズ11」にはAI支援機能「コパイロット」が追加され商用サービスとして提供が始まった。同社は出資するオープンAIの基盤技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行させる。付加価値が高いとして企業向けにはサブスクリプション料としては高額な月額30ドルを設定した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	374.58 ( 12/22 )
52週高値(日付)	384.3 ( 23/11/29 )
52週安値(日付)	219.35 ( 23/01/06 )
時価総額	2兆7,840億ドル 396兆4661億円
株価変化率(%)	11.8 (過去6ヶ月間) 56.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	36.0 (倍)
株価売上高比率	12.8 (倍)
PBR	12.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.80 (直近年率)
配当成長率(%)	9.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.1 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q1	50,122	—	21,518	—	17,556	—	2.35	0.68
2024/Q1	56,517	13	26,895	25	22,291	27	2.99	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は182,381人(23年9月末)。

注目ポイント

□**広告事業の回復続く**: 23年7-9月期決算ではグーグル検索やYouTube事業が好調さを増し、ネット広告全体の売上高は同9%増の596億ドルと前年比マイナスだった昨年末から回復。YouTubeの拡大は広告収入の伸びに加えて有料会員サービス加入者の増加が貢献した。

□**生成AIでマイクロソフトに対抗**: グーグルは8月に文書・メール・スライド作成が出来る企業向け生成AIツール「デュエットAI」の概要を発表、料金は1人当たり月額30ドルとマイクロソフトの「コパイロット」と同額設定にした。23年12月に生成AIハートの後継となるジェミニを発表、オープンAIのチャットGPTより優位性をアピールした。ジェミニは性能別に3種類あり、モバイル端末から大規模データセンターまであらゆるものに対応が可能になるとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	141.49 ( 12/22 )
52週高値(日付)	141.99 ( 23/12/22 )
52週安値(日付)	84.87 ( 23/01/06 )
時価総額	1兆7,785億ドル 253兆2716億円
株価変化率(%)	15.7 (過去6ヶ月間) 58.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.2 (倍)
株価売上高比率	6.1 (倍)
PBR	6.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	25.3 (%)
株式ベータ	1.13 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	257,637	41	78,714	91	76,033	89	5.61	0.00
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	69,092	—	17,135	—	13,910	—	1.06	0.00
2023/Q3	76,693	11	21,343	25	19,689	42	1.55	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **アレクサに生成AIを搭載へ**：アマゾンは9月20日、自社の音声アシスタントのアレクサに生成AI技術を幅広く搭載して人間らしく自然に複雑な指示にも対応できるようになると発表。米国で24年にかけて段階的にソフト更新の度に高度化する計画。2014年の初代の音声スピーカーエコの発売から8年、身近なAI製品が一段と進化する見通し。

□ **米最大の宅配業者に成長**：米国の小包の宅配便取扱個数で大手のUPSを抜き最大となったことが社内データや関係者の話で判明（なお小口配送個数では米郵便公社が最大手を維持）。23年の感謝祭までの同社配達個数は48億個、通年は59億個となる見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	153.42 ( 12/22 )
52週高値(日付)	155.62 ( 23/12/20 )
52週安値(日付)	81.44 ( 23/01/06 )
時価総額	1兆5,854億ドル 225兆7835億円
株価変化率(%)	18.6 (過去6ヶ月間) 80.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	72.1 (倍)
株価売上高比率	2.8 (倍)
PBR	8.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.5 (%)
株式ベータ	1.30 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	469,822	22	24,879	9	33,364	56	3.24	0.00
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	127,101	—	2,525	—	2,872	—	0.28	0.00
2023/Q3	143,083	13	11,188	343	9,879	244	0.94	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。



生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AIインフラの一翼を担う

会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが56%、ゲーム市場向けが34%、視覚化技術に関するプロ向けが6%、自動車向けが3%、OEM&IPが2%(23年1月期)。

注目ポイント

□「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: マイクロソフトなどIT大手をはじめ人工知能の「機械学習」の計算処理に同社の半導体が利用される。コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルのものもあるが、AIインフラの必須アイテムとなっている。24年第2四半期に高性能GPU「H200」の販売開始を予定する。

□11-1月期売上高も大幅増見通し: AI半導体の対中国等の輸出規制強化を受け、データセンター向け過去売上の約20~25%が影響を受けるとしたが、11-1月期売上見通しは約200億ドルと市場予想を上振れ、需要超過が続く他地域の成長で相殺できるとの見方を示した。データセンター市場は2025年まで成長が続くとCEOが言及した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	488.3 ( 12/22 )
52週高値(日付)	505.47 ( 23/11/20 )
52週安値(日付)	138.84 ( 22/12/28 )
時価総額	1兆2,061億ドル 1,71兆7,608億円
株価変化率(%)	15.7 (過去6ヶ月間) 221.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	62.6 (倍)
株価売上高比率	26.9 (倍)
PBR	36.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	69.2 (%)
株式ベータ	1.63 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/01	26,914	61	10,041	122	9,752	125	3.85	0.16
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	5,931	—	601	—	680	—	0.27	0.04
2024/Q3	18,120	3倍	10,417	17倍	9,243	14倍	3.71	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

約40億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼働、インスタグラムなども含む)は全世界で39.6億人(23年7-9月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約66,185人(23年9月末時点)。

注目ポイント

□ **インスタなど自社SNSに生成AI導入へ**：メタは9月27日に写真共有アプリのインスタグラムやワッツアップ、メッセンジャーに対話型の生成AI「メタAI」を導入すると発表。自社の大規模言語モデルLlama(ラマ)2が基盤で質問に回答する。メタAI以外に28種類のAIキャラクターがSNS上にプロフィールが公開され、性格に基づいた対応をするとした。

□ **短編動画「リールズ」の収益化前進**：短編動画のリールズは、FBとインスタの利用時間の半分以上を占め、計画より早く現金収支上の中立水準まで改善、Xに類似のスレッズは開始から3カ月経過して月間稼働利用者は1億人弱で推移している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	353.39 ( 12/22 )
52週高値(日付)	357.17 ( 23/12/22 )
52週安値(日付)	115.55 ( 22/12/28 )
時価総額	9,082億ドル 129兆3316億円
株価変化率(%)	22.4 (過去6ヶ月間) 199.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.1 (倍)
株価売上高比率	7.2 (倍)
PBR	6.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.20 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	117,929	37	46,753	43	39,370	35	13.77	0.00
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	27,714	—	5,664	—	4,395	—	1.64	0.00
2023/Q3	34,146	23	13,748	143	11,583	164	4.39	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モータース」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **トヨタも北米充電規格はテスラ式に**：23年前半にGMやフォードがこぞって急速充電設備利用を目的にテスラが開発した充電規格「NACS」の採用を決め、テスラ式の北米充電規格の業界標準化が加速した。日本の自動車メーカーも日産、ホンダに続き、トヨタ自動車も10月に北米充電規格はテスラ式にすることを発表、テスラの優位性が増した。

□ **サイバートラック納車開始**：ステンレス鋼の外骨格ボディで重厚な外装のピックアップトラック型の「サイバートラック」を23年11月末に納車開始した。1回の充電で最長547キロの走行が可能。当面高価格の納車を優先する計画で年25万台の出荷目標は25年頃に達成する見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	252.54 ( 12/22 )
52週高値(日付)	299.29 ( 23/07/19 )
52週安値(日付)	101.83 ( 23/01/06 )
時価総額	8,028億ドル 114兆3274億円
株価変化率(%)	-1.6 (過去6ヶ月間) 105.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	81.0 (倍)
株価売上高比率	8.3 (倍)
PBR	15.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.1 (%)
株式ベータ	1.60 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	53,823	71	6,523	227	5,519	665	1.63	0.00
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00

四半期業績

2022/Q3	21,454	—	3,688	—	3,292	—	0.95	0.00
2023/Q3	23,350	9	1,764	-52	1,853	-44	0.53	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症治験薬に注目高まる

会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬としてFDA承認獲得**: 糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の「セツパウンド」が肥満症治療薬として11月、FDAに新薬承認された。同薬は「GLP-1受容体作動薬」の一種で食欲抑制効果ある。1ヵ月分のコストは約1060ドルとしたが、会社側は米国に接種対象者が5千万人おり、肥満による合併症が多く、それらの予防効果(治療費節減)を考えると肥満症薬の価値は大きいとの見方を示した。

□ **アルツハイマー症の治験薬は審査中**: アルツハイマー型認知症の治験薬「ドナネマブ」は7月にFDAに新薬承認申請したが、承認か否かの判断は24年1-3月期まで延長され、審査に時間を要しているとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	570.39 ( 12/22 )
52週高値(日付)	629.94 ( 23/10/13 )
52週安値(日付)	302.14 ( 23/01/24 )
時価総額	5,415億ドル 77兆1,115億円
株価変化率(%)	24.3 (過去6ヶ月間) 55.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	64.5 (倍)
株価売上高比率	16.0 (倍)
PBR	48.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.91 (直近年率)
配当成長率(%)	15.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	46.9 (%)
株式ベータ	0.67 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	28,318	15	6,156	-15	5,582	-10	6.12	3.40
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92

四半期業績

2022/Q3	6,942	—	1,566	—	1,452	—	1.61	0.98
2023/Q3	9,499	37	427	-73	-57	赤転	-0.06	1.13

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業、画像生成AIを強化

会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「アクロバット」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレータ」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルトを取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、従業員数は29,945名(23年12月時点)。

注目ポイント

□ **画像生成AI「ファイアフライ」**: 簡単な文章を元に画像等を作成する生成AI「ファイアフライ」を9月に商用提供開始、10月には次世代を披露。描きたいものを文章で打ち込めば数秒で画像が出来上がる。試験公開以来45億超の作品が生成され、機能は各製品の最上位版に既に追加、11月より欧米ではサブスク料金が約1割値上げされた。

□ **フィグマ合併合意解消**: 新興企業フィグマと合併することを22年9月に発表したが、欧州・英国規制当局の承認が下りず23年12月に合意解消に至った。アドビがフィグマに契約解除金10億ドルを支払うが、合併時のアドビの1株利益の希薄化懸念が後退した格好。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	598.75 ( 12/22 )
52週高値(日付)	633.81 ( 23/12/12 )
52週安値(日付)	318.6 ( 23/02/24 )
時価総額	2,726億ドル 38兆8,225億円
株価変化率(%)	23.5 (過去6ヶ月間) 76.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	49.5 (倍)
株価売上高比率	14.1 (倍)
PBR	16.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.5 (%)
株式ベータ	1.45 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/11	17,606	12	6,098	5	4,756	-1	10.10	0.00
2023/11	19,409	10	6,650	9	5,428	14	11.82	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	4,525	—	1,505	—	1,176	—	2.53	0.00
2023/Q4	5,048	12	1,743	16	1,483	26	3.23	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は7,700社超。地域別売上(22年度)は北米65%、欧州等25%、アジア/太平洋が10%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は22,166名(23年9月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **エヌビディアと協業**：サービスナウとエヌビディアは協業し、企業の社内システムに生成AI(人工知能)を導入しやすくする。サービスナウのクラウドサービスにエヌビディアの対話型AIサービスの開発基盤等を活用する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	697.55 ( 12/22 )
52週高値(日付)	720.39 ( 23/12/13 )
52週安値(日付)	353.97 ( 23/01/06 )
時価総額	1,430億ドル 20兆3,643億円
株価変化率(%)	28.5 (過去6ヶ月間) 82.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	204.2 (倍)
株価売上高比率	16.8 (倍)
PBR	19.9 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	27.1 (%)
株式ベータ	1.44 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,896	30	257	29	230	94	1.13	0.00
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	1,831	—	91	—	80	—	0.39	0.00
2023/Q3	2,288	25	231	154	242	203	1.17	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

分社化で組織再編したIT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウド、ブロックチェーンで巻き返しを図る

会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許取得の年間件数では28年連続の首位。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだ。他方、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ **組織再編進展、ハイブリッドクラウド強化**: 2019年にオープンソース大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」と人工知能(AI)等の分野に経営資源のシフトを図った。5月にAIに代替される業務の採用を停止すると発表し、経費節減にも尽力する。

□ **進化したAI「ワトソンX」**: IBMは法人向けの人工知能(AI)「ワトソンX」を5月に発表、従来「ワトソン」より処理能力や使い勝手を向上させた。8月にマイクロソフト・アジュールと、10月にはAWS(アマゾン)という、2強クラウドと提携し、「ワトソンX」の販売力を強化した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	162.14 ( 12/22 )
52週高値(日付)	166.3 ( 23/12/12 )
52週安値(日付)	120.55 ( 23/05/11 )
時価総額	1,481億ドル 21兆0.842億円
株価変化率(%)	25.3 (過去6ヶ月間) 14.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	17.6 (倍)
株価売上高比率	2.4 (倍)
PBR	6.4 (倍)
税前配当利回り(%)	4.09 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.1 (%)
株式ベータ	0.77 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	57,350	—	4,837	—	5,743	—	6.35	6.55
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	14,107	—	-4,501	—	-3,196	—	-3.54	1.65
2023/Q3	14,752	5	1,873	黒転	1,704	黒転	1.84	1.66

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ケイデンス・デザイン・システムズ(CDNS)

半導体・集積回路の設計支援ソフトの世界大手

会社概要

世界中の電子システム企業及び半導体企業に小型で複雑な半導体・集積回路、ICチップ及び電子デバイスの設計ができるEDA(半導体設計の自動化ツール)製品を開発、提供。同社の半導体設計ツールは製品を市場投入するまでの時間を短縮させ、設計・開発・製造コストを削減させることに貢献。エヌビディアやAMD、台湾TSMCや米IT大手各社が同社EDAツールを使用、S&P500指数構成銘柄。

注目ポイント

□ **半導体メーカーの名黒子役、ライバルの少ないEDA業界**: 顧客は半導体企業や電子部品の開発企業。主要製品EDAの需要は顧客先の開発・投資活動の盛況振りが左右する。EDA業界ではライバルのシプスや独シメンスEDA(旧メンターグラフィクス)と同社の3社しかなく、寡占状態。専門分野を棲み分けしつつ、高い収益性を確保。

□ **半導体規制の影響は軽微**: 23年10月導入の対中AIチップの輸出規制の影響について同社はチップの製造に直接関与せず、設計プロセスに携わっているため、大きな影響を与えることはないと言及。顧客層が地理的に多様であることも影響の緩和に役立つだろうとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	275.82 ( 12/22 )
52週高値(日付)	278.99 ( 23/11/30 )
52週安値(日付)	155 ( 23/01/05 )
時価総額	750億ドル 10兆6,865億円
株価変化率(%)	22.4 (過去6ヶ月間) 70.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	77.4 (倍)
株価売上高比率	19.0 (倍)
PBR	24.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)
株式ベータ	1.19 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	2,988	11	779	21	696	18	2.50	0.00
2022/12	3,562	19	1,074	38	849	22	3.09	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	903	—	261	—	186	—	0.68	0.00
2023/Q3	1,023	13	299	15	254	37	0.93	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。



インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに劣後も巻き返し目指す**: AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な存在。ただPCやサーバ向けCPUではインテルの方がシェアで勝り、GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝す。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、インテルやエヌビディアの牙城の切り崩しを画策する。

□ **高性能AI半導体を発表**: 同社は生成AIにも対応する高性能GPU「MI300X」を12月に発表、マイクロソフトやメタ等のIT大手が購入する。リサ・ス・CEOは発表の席でAI用半導体を含むAIアクセラレータ市場規模は今後4年間で年率7割以上伸び、27年に4,000億ドル超と予測した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	139.6 ( 12/22 )
52週高値(日付)	143.47 ( 23/12/19 )
52週安値(日付)	60.05 ( 23/01/06 )
時価総額	2,255億ドル 32兆1,168億円
株価変化率(%)	26.9 (過去6ヶ月間) 116.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	585.4 (倍)
株価売上高比率	10.2 (倍)
PBR	4.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	0.4 (%)
株式ベータ	1.54 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	16,434	68	3,648	166	3,162	27	2.57	0.00
2022/12	23,601	44	1,264	-65	1,320	-58	0.84	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q3	5,565	—	-64	—	66	—	0.04	0.00
2023/Q3	5,800	4	224	黒転	299	4.5倍	0.18	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体製造装置の世界大手、新製品投入効果に期待

会社概要

半導体製造装置の世界大手。半導体やフラットパネルディスプレイ等の製造装置や関連ソフトウェアを製造・販売。中核事業部門である半導体製造装置部門はチップ製造の主要工程全般の装置を手掛ける。主要顧客は台湾TSMC、韓国サムスン電子、インテル等で直販体制を敷く。米国、ドイツ、台湾、シンガポール等に生産拠点、本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は約34,300名(23年10月末時点)。

注目ポイント

□ **来年以降の再拡大を見据える**：11月の23年度の本決算発表で24年は産業・自動車向けの需要が低調となる半面、AIデータの増加等を背景に先端半導体メーカーやファウンドリの需要が増加するほか、DRAMメーカーの堅調な需要見込みを示した。中国向けは規制の遵守を確認、需要は長期的に健全な状態が続くとした。同社は長期契約に基づく保守サービス強化しており収益安定化に寄与している。

□ **新製品効果に期待**：ASMLのEUV露光装置による電子回路転写工程の回数を2回を1回に減らし、省電力・コスト削減に貢献する新製品「センチュラ・スカルプタ」が今後の成長ドライバーとして期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	162.05 ( 12/22 )
52週高値(日付)	164.15 ( 23/12/15 )
52週安値(日付)	93.68 ( 22/12/28 )
時価総額	1,347億ドル 19兆1,790億円
株価変化率(%)	19.1 (過去6ヶ月間) 66.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	20.1 (倍)
株価売上高比率	5.1 (倍)
PBR	8.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.79 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	19.6 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	48.0 (%)
株式ベータ	1.47 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	25,785	12	7,788	13	6,525	11	7.44	1.02
2023/10	26,517	3	7,654	-2	6,856	5	8.11	1.16

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	6,749	—	1,994	—	1,591	—	1.85	0.26
2023/Q4	6,723	-0	1,971	-1	2,004	26	2.38	0.32

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手、統合型セキュリティ企業として存在感増す

会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代のファイアウォールの特徴は、包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□**統合型セキュリティ企業としての強み**：全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ/サイバーエージェント/KDDI/東京大学等に導入実績あり。外からの攻撃を守るファイアウォールや最終端末防御、クラウド保護など幅広く網羅する統合型サービスが強み。無駄なIT支出抑制とセキュリティ環境の構築を両立したい企業ニーズを取り込み、従来型セキュリティ企業から市場シェアを奪取してきた。

□**収益性改善を見据える中計目標**：現在の中計では23-26年度の調整後1株利益・年平均成長率20%以上、26年度の調整後営業利益率28-29%(23年度:24%)、同利益率の長期目標を「30%台前半～半ば」とし、収益性向上を中心的な財務目標に据えている。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	298.21 ( 12/22 )
52週高値(日付)	318 ( 23/12/14 )
52週安値(日付)	132.22 ( 23/01/12 )
時価総額	940億ドル 13兆3,902億円
株価変化率(%)	22.2 (過去6ヶ月間) 111.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	164.5 (倍)
株価売上高比率	12.7 (倍)
PBR	43.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	45.8 (%)
株式ベータ	1.09 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/07	5,502	29	-189	赤継	-267	赤継	-0.90	0.00
2023/07	6,893	25	387	黒転	440	黒転	1.28	0.00

四半期業績

2023/Q1	1,563	—	15	—	20	—	0.06	0.00
2024/Q1	1,878	20	215	14倍	194	9.7倍	0.56	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウドストライク・ホールディングス(CRWD)

高成長のエンドポイント・セキュリティ企業

会社概要

2011年設立の次世代サイバーセキュリティ企業。創業者のジョージ・カッツ最高経営責任者(CEO)は、米セキュリティ大手のマカフィーの幹部を経て、同僚のドミニク・アルペロッチ氏と同社を立ちあげる。前々回の大統領選前の16年4月、米民主党中央委員会に対するロシア系グループのサイバー攻撃を発見し、一躍有名となる。人工知能(AI)とクラウドサービスを活用し、サイバー攻撃に対処する技術やサービスを提供する。

注目ポイント

□ **エンドポイント・セキュリティに強み**：同社はエンドポイント防御プラットフォーム(EPP)分野を代表するセキュリティ企業。顧客が使用するモバイル機器やサーバなどのエンドユーザー機器を保護、100%クラウド型の基本設計であり、クラウドを使用しない従来型に対して競争優位性を持つ。異なるIT環境にも対応可能で迅速に設定できる強みも持つ。

□ **収益性改善を明示**：9月の投資家説明会で今後3-5カ年度の中計目標を示し、調整後サブスク粗利益率82-85%(従来目標比4%分改善)、調整後営業利益率28-32%(同9%分改善)、純現金収支・売上比34-38%(同5%分改善)と収益性改善を重視する見込み。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	255.63 ( 12/22 )
52週高値(日付)	261.63 ( 23/12/18 )
52週安値(日付)	92.25 ( 23/01/10 )
時価総額	614億ドル 8兆7,423億円
株価変化率(%)	78.0 (過去6ヶ月間) 150.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	21.3 (倍)
PBR	30.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-0.7 (%)
株式ベータ	1.34 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/01	1,452	66	-143	赤継	-235	赤継	-1.03	0.00
2023/01	2,241	54	-190	赤継	-183	赤継	-0.79	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	581	—	-56	—	-55	—	-0.24	0.00
2024/Q3	786	35	3	黒転	27	黒転	0.11	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

連続増配実績は45年以上、改革を続けるファストフードチェーン

会社概要

世界展開するハンバーガー・レストラン・チェーン大手。全ての店舗で均一性・高品質の確保を目的とし、「マクドナルド」はグローバルブランドとして広く浸透している。フランチャイズ店舗、関連会社の店舗も含めた運営店舗は、世界100ヶ国以上で40,000店舗超に及ぶ。1976年に初めて配当を実施して以来、毎年増配している。本社はイリノイ州・シカゴ、従業員数は約150,000人(22年12月末時点)。

注目ポイント

□ **長年の増配実績を持つ配当貴族銘柄**：これまで46年連続の増配実績を持ち、マクドナルド株はS&P500配当貴族指数にも属す。例年10月が増配発表時期で過去5年間の年平均増配率は+9%。23年11月には中国本土・香港の少数株を米カーライル社から買い戻すことで合意、中国事業の出資比率が20%→48%へ高まる見込み。

□ **5万店舗計画・生成AI導入を発表**：12月に投資家説明会を実施、2027年までに新店舗を1万店開設、総店舗数を5万店に増やす計画を公表、同社史上最速の拡大になるという。またクラウド技術とAI分野でグーグルと提携、ドライブスルーで音声を用いた注文などでの生成AIの活用などを検討、デジタル対応に改めて注力する方針。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	291.7 ( 12/22 )
52週高値(日付)	299.35 ( 23/07/21 )
52週安値(日付)	236.77 ( 23/01/24 )
時価総額	2,116億ドル 30兆1,314億円
株価変化率(%)	0.6 (過去6ヶ月間) 9.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	25.3 (倍)
株価売上高比率	8.5 (倍)
PBR	- (倍)
税前配当利回り(%)	2.29 (直近年率)
配当成長率(%)	10.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	- (%)
株式ベータ	0.75 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	23,223	21	10,356	41	7,545	60	10.04	5.25
2022/12	23,183	-0	9,371	-10	6,177	-18	8.33	5.66

四半期業績

2022/Q3	5,872	-	2,764	-	1,982	-	2.68	1.38
2023/Q3	6,692	14	3,208	15	2,317	17	3.17	1.52

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 株式投資に関するご留意事項

### ◆手数料等について

#### ■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。  
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

#### ■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

#### ■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

### ◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前  
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。